

Future-Sound (4)フューチャー・サウンド体験

今が旬の“クロックジェネレーター”や“音響パワーイコライザー”を駆使して、現在～近未来に実現するであろう、高音質オーディオをご体験いただけます。

- ①ワードクロック・ジェネレーター音質体験
- ②アトミッククロック・ジェネレーター音質体験
- ③音響パワーイコライザー音質体験(2ch)
- ④音響パワーイコライザー音質体験(サラウンド)

①ワードクロック・ジェネレーター試聴
Antelope Audio “OCX”を追加
AIRBOW UX1SE/Limited
(¥1,500,000)



↑ Word Clock 入中
Antelope Audio OCX (¥158,000)



②アトミッククロック・ジェネレーター試聴
GPS 10Mクロックを追加
AIRBOW UX1SE/Limited
(¥1,500,000)



↑ Word Clock 入中
Antelope Audio OCX (¥158,000)



←10MHz GPS クロック
入中

AIRBOWのフラグシップ・デジタルプレーヤー UX1SE/Limitedを使って、逸品館お薦めのクロックジェネレーター、Antelope Audio OCXの“ある”、“なし”による音質を聞き比べます。さらにOCXにGPS衛星を利用して高精度な10MHzを生成するAIRBOWのプロトタイプ(価格未定ですが10万円以下にしたいと考えています)を追加した場合の、音質変化をご体験いただけます。高精度なマスタークロックを追加する事による、音質の変化にご注目ください。

③音響パワーイコライザー音質体験
(ステレオ)
AIRBOW UX1SE/Limited
(¥1,500,000)



Real Sound lab
Apeq2pro(¥210,000)

↓ 音響パワーイコライザー接続中



④音響パワーイコライザー音質体験
(サラウンド)
AIRBOW UX1SE/Limited
(¥1,500,000)



Real Sound lab
Apeq8pro(¥680,000)

↓ 音響パワーイコライザー接続中

AIRBOW SR6004/Special
(¥198,000)



逸品館お薦めの“音響パワーイコライザー Real Sound Lab Apeq”を駆使して、リスニングルームの音響を補正した場合の音質変化を“ステレオ”と“サラウンド”でご体験いただけます。ステレオの試聴には、Tannoy Kingdom/Royal、B&W 802/Diamond、Vienna Acoustics BEETHOVEN-CONCERT-GRAND(T3G)を使います。

サラウンドには、FRONT: B&W 802/Diamond、CENTER: AIRBOW IMAGE11/KAI2、REAR: B&W CM9、WOOFER: audiopro B2.27MK2を使いますが、この豪華なサラウンドシステムから20万円に満たないAIRBOW SR6004/Specialがどれくらいの音質を引き出せるか?それも聴き所です。

■ 10MHz Clock (Atomic Clock)

ルビジウム・セシウム等の原子クロックから発信される基準信号です(通常、この10MHzは、パルス波[デジタル信号によくある「」]ではなく、サイン波(~~~~)で発信されます)。近年のオーディオ業界(クロック関連)では最も注目されている基準信号で、Antelope Audio OCX、Branstorm DCD-8を始め、Phasetech HD-7AやEsoteric K-03など、オーディオ機器にも装備されています。

■ APEQ-8pro DIO

Real Sound Lab社が発明した音響パワーイコライジングを、ハードウェアで実現。

APEQ-2proとの主な違い

- ・一台で8chまでのイコライジングが可能。
- ・サラウンド対応
- ・測定インターフェイス内蔵
- ・Wordclock端子装備
- ・Ethernet端子装備(コントロールのみ)。

Antelope Audio OCXの詳細は、この冊子P10~11のテストレポートをご覧くださいませ。

Real Sound Lab Apeq2proの詳細は、この冊子P12~13のテストレポートをご覧くださいませ。